平成 26 年 4 月 4 日

各位

会 社 名　　株式会社Ｔ＆Ｃホールディングス
代表者名　　代表取締役　田中茂樹
（コード番号 3832）
問合せ先　　取締役　　松本貞子
（TEL. 03-5443-7489）

臨床研究及び臨床に関する覚書締結のお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、何氏眼科医院と「再生因子を使った再生医療」の眼科領域における臨床研究及び臨床に関する覚書を締結することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 目的

当社は、医療機器製造販売、病院の運営・管理、検診・医療ツーリズム、「再生因子を使った再生医療」による医療関連事業を展開しております。

何氏眼科医院は、中国における唯一の医科大学を持つ私立の眼科医院で、中国政府より重要医療機関に認定されている中国 4 大眼科のひとつです。学生数 6,000 人の医科大学の他、生物技術研究所(※1)、生物製剤製造工場(※2)も運営しており、教育、研究・開発にも積極的に取り組んでおり、特に再生医療の研究には熱心で、細胞移植手術の実績を有しております。

院長である何偉氏（兄)、執行総裁である何向東氏（弟）は、ともに九州大学医学部卒業で当社取締役の王の同窓であり、平成 26 年 2 月に、当社の展開する「再生因子を使った再生医療」を説明したところ、ぜひ臨床研究を行いたいとの申し出がありました。当社代表取締役田中は、何氏眼科医院をはじめ、医科大学、生物技術研究所、生物製剤製造工場を訪問し、GMP(適正製造規範)（※3）に適合する細胞培養施設をはじめ、「再生因子を使った再生医療」を行うのに十分な施設を有していることを確認し、また、臨床医との面談を行い、臨床研究に必要十分な知識が備わっており、世界的な学会発表の経験も豊富なことから、何氏眼科医院は、臨床研究及び臨床を行うには最適の病院であるとの結論に達し、このたびの臨床研究及び臨床に関する覚書を締結することといたしました。これにより、当社は臨床研究に使用する再生因子は、原則として当社が何氏眼科医院に有料で提供し、共同で眼科領域における臨床研究をはじめます。また、何氏眼科医院が再生因子の製造及び提供する場合は、当社がライセンス料を受領します。将来、本格的な臨床サービスが開始されるときは、当社が再生因子の提供を行うか、当医院のグループ会社である生物製剤製造会社にライセンシングして再生因子を提供します。また、再生因子の商品化研究の結果、商品として販売する場合は、合弁会社を設立する予定です。なお、合弁会社設立の際は、別途お知らせいたします。

(※1) 生物の持つさまざまな機能を医薬品・食糧などの生産や環境の浄化などに応用し、人の生活や環境保全に役立たせるための技術。

(※2) 生物由来の物質からつくられる薬剤。

(※3) 品質保証の手段として工場などの製造設備及び品質、製造管理について、遵守しなければならないことを明確にした基準

2. 何氏眼科医院の概要

商号	何氏眼科医院 http://www.hsyk.com.cn	
所在地	中国瀋陽市黄河北大街128号	
代表者の役職・氏名	院長　何偉	
事業内容	眼科診療	
設立年月日	1995年	
大株主及び持株比率	何偉　100%	
上場会社と当該会社との関係等	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態　　単位:万元(万円)

決算期	2011年12月期	2012年12月期	2013年12月期
純資産	12,746 (216,682)	12,072 (205,224)	15,166 (257,822)
総資産	20,979 (356,643)	19,812 (335,804)	27,192 (462,264)
1株当り純資産（元） （円）	4.25 (72.25)	4.02 (68.34)	5.06 (86.02)
売上高	7,432 (126,344)	7,625 (129,625)	9,629 (163,693)
営業利益	3,021 (51,357)	3,713 (63,121)	4,835 (82,195)
経常利益	1,624 (27,608)	1,552 (26,384)	2,963 (50,371)
当期純利益	1,624 (27,608)	1,552 (26,384)	2,963 (50,371)
1株当り当期純利益（元） （円）	0.54 (9.18)	0.52 (8.84)	0.99 (16.83)
1株当り配当金（元） （円）	－ (－)	－ (－)	－ (－)

※当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態における（）内は、1元＝17円で換算した円貨です。

3. 日程

覚書締結日：平成26年4月5日（予定）

臨床研究開始日：平成26年4月中（予定）

4. 今後の見通し

本覚書締結による当社業績に与える影響は軽微と考えますが、今後の取組みの状況により業績に与える影響が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

以　上